



日本酒を楽しもう 西宮蔵開

入場無料
※飲食は有料

市内の酒造会社は、「西宮蔵開」を開催します。6つの酒蔵が自社の敷地を開放し、しぼりたて新酒の有料試飲などを行います。入場無料(飲食は有料)。

詳しくは、にしのみや観光協会ホームページまたは、市役所本庁舎1階総合案内所横、阪神西宮おでかけ案内所などで配布のパンフレットをご覧ください。



酒蔵	会場	日程
寶娘	大澤本家酒造(東町1丁目)	2月3日(土)の午前10時~午後3時
白鹿	辰馬本家酒造本社(建石町)	2月10日(土)の午前10時~午後3時
徳若	万代大澤醸造(東町1丁目)	2月17日(土)の午前10時~午後3時
日本盛	日本盛本社工場敷地内、酒蔵通り煉瓦館(用海町)	2月23日(金・祝)の午前11時~午後4時
白鷹	白鷹本蔵東側(浜町)※予定	3月3日(日)の午前11時~午後3時
大関	大関寿製品庫(今津出在家町)	3月9日(土)の午前10時~午後3時

※お酒は20歳になってから。飲酒運転は絶対にやめましょう

問 西宮日本酒振興連絡会事務局(0798・31・7821…にしのみや観光協会内)



伊丹と灘五郷をめぐる

デジタルスタンプラリー

3月3日(日)まで23カ所で開催中!

専用アプリ不要! スマホのGPS機能でスタンプGET!

日本遺産『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』の地(西宮市、伊丹市、神戸市、尼崎市、芦屋市)に点在する合計23カ所のラリーポイントを巡り、スタンプを集め応募すると、抽選で賞品を進呈します。また、参加者(先着1200人)にはオリジナルステッカーをプレゼントします。ぜひご参加ください。

参加方法

STEP 1 コードをスマホで読み取り、専用WEBサイトを開き、スタンプラリースタート

STEP 2 専用WEBサイトのMAPを見ながら、好きなスポットを巡り、スタンプポイントでスタンプを取得

STEP 3 応募したい賞に必要なスタンプを集めて、プレゼントページから応募

STEP 4 当選者に商品を送付(当選発表は商品発送をもって通知。落選通知はありません)

問 阪神間日本遺産推進協議会
(072・744・2088…伊丹市 空港・にぎわい課内)

2/3 ワクワク楽しく! 多文化共生 西宮国際交流デー

入場無料

西宮市国際交流協会は、2月3日(土)の午前10時~午後4時にフレンテ西宮で西宮国際交流デーを開催します。入場無料。多数の場合入場制限あり。

プログラム

- 展示とバザー …午前10時~午後4時
- 地球っ子による「地球っ子宣言」 …午前10時半から。定員200人
- 民族音楽パフォーマンス …午後2時から。定員200人



詳細は同協会HPで確認を



にほんごスピーチ発表会、インターナショナルカフェ、国際まちの健康相談、日本文化体験コーナー、スタンプラリーも開催します!

問 西宮市国際交流協会(0798・32・8680)

西宮市エリアの情報交換 地域コミュニティアプリ「ピアッツァ」

「ピアッツァ」は身近な地域のイベントや暮らしに関する情報交換などを通じて、地域密着型のコミュニケーションを促進するためのアプリです。

地域ならではの口コミが得られる「ピアッツァ」をぜひ活用してみてください。詳しくはピアッツァのホームページをご覧ください。

※本市は「ピアッツァ」アプリを運営するPIAZZA(株)と昨年12月に連携協定を締結しました

防犯情報や自治体からのお知らせがすぐ分かる

おもちゃ・家具等のおさがりの譲り合い

病院情報や遊び場のコミ

《登録方法》

- ① 「ピアッツァ」アプリを入手
- ② 「西宮市エリア」を選択
- ③ ニックネームなどを入力

アプリの入手はこちらから

ピアッツァ 西宮市 🔍 検索

問 地域コミュニティ推進課(0798・35・3279)

災害時への備えできていますか

問 地域防災支援課(0798・35・3618) (HP) 87361954

地震等の災害は、いつどこで起きるか分かりません。いざという時に自分自身や大切な人を守るために、日頃からの備えをしておきましょう

check マイ・タイムライン(防災行動計画)

- 自宅付近の危険を確認
- 家庭の状況を確認
- 避難場所の確認



check 情報収集手段の確認

- 西宮市ホームページ
- 西宮市防災ポータル
- にしのみや防災ネット(メール)など



check 備蓄品の準備

- 7日分以上の食料・飲料水
- トイレ用品 燃料
- ラジオ、モバイルバッテリーなど



市制100周年記念企画
NISHINOMIYA

みやたと学ぶ



西宮の今昔

市制施行と庁舎のあゆみ

西宮市は、大正14年4月1日に西宮町が市制を施行して、兵庫県では5番目に市となりました。当初は浜久保町(現・久保町)にあった旧町役場を市役所として執務していましたが、昭和3年に13代辰馬吉左衛門氏からの寄付により、六湛寺町に待望の市庁舎が建てられました。その後、戦後の急激な人口増大に対応するため、昭和46年に現在の本庁舎が建設されました。平成7年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたが、改修工事を行い、現在も本庁舎として機能を果たしています。

★今号から市制100周年記念企画「みやたと学ぶ『西宮の今昔』」コーナーを始めました(毎月25日号に掲載予定)。西宮のことを知ってもらい、西宮をもっと好きになっていただければ幸いです!

本庁舎の立つ場所は昔は墓地だったんだよー



浜久保町(現・久保町)にあった西宮町役場(旧西宮小学校校舎)



現在の本庁舎は3代目。1階吹き抜けの壁面には市内の見どころのレリーフがある